

まきのほら 教育委員会だより

教育委員会表彰 表彰式 ~各分野で活躍した方々が表彰されました~

牧之原市教育委員会では、学術やスポーツ等で功績のあったみなさんを「牧之原市教育委員会表彰」、「牧之原市少年少女ノーベル賞」として表彰しています。受賞者は次のとおりです。

「牧之原市教育委員会表彰」は県大会等で優秀な成績を収めた方々を表彰しています。
「牧之原市少年少女ノーベル賞」は 20 歳以下で、全国で優秀な成績を収めた方々を表彰しています。



【牧之原市少年少女ノーベル賞】[13名](敬称略)

- 河守真由 川崎小5年 全国空手道選手権大会 準優勝
- 加藤真鈴 細工小4年 JA 共済全国小中学生書道コンクール 銀賞
- 瀧谷美紀 相良中3年 少年の主張全国大会~わたしの主張2009~
独立行政法人国立青少年教育振興機構理事賞
- 尾崎芹佳 榛原中2年 U-15 全国通算一丸大会2009 第3位
- 橋本佳美 榛高定時制1年 全国高校定時制剣道大会女子個人 準々決勝出場
- 笹原佑介 藤高成3年 全国高校サッカー選手権大会 準々決勝出場
- 鈴木周太 藤高成3年 " 準々決勝出場
- 増田浩史 藤高成3年 " 準々決勝出場
- 榛葉 亨 藤高成3年 全国高校総体バドミントン競技 第3位
- 世良昌浩 藤高成3年 " 第3位
- 伊井浩 磐田東高3年 全日本U-18サッカー選手権大会 準優勝
- 中島和哉 浜松視覚特別支援学校高等部3年 全国盲学校理球大会 優勝
- 長野成吾 桐蔭学園3年 全国高校総体剣道男子団体 準優勝



表彰状を授与される受賞者
(三月十二日土相良総合センター いっら)

【教育委員会表彰(個人)】[39名](敬称略)

- 鈴木愛実 相良小1年 JA 共済県小中学生書道コンクール 半紙 金賞
- 矢部安佳里 相良小2年 ジュニア展覧 書写 県市長会長賞
- 深澤日菜子 相良小5年 県読書感想文コンクール 毎日新聞社静岡支局長賞
- 澤田真理奈 相良小6年 県小中学校児童生徒書き初めコンクール 最優秀賞
- 大石智貴 片浜小6年 Shizuoka スーパーキッズ大会 男子 第2位
- 増田あい 地頭方小1年 県席書コンクール 最優秀賞
- 松下蔵大 地頭方小2年 県読書感想文コンクール 毎日新聞社静岡支局長賞
- 櫻井 翼 地頭方小3年 県小中学校児童生徒書き初めコンクール 最優秀賞
- 小笠原一貴 地頭方小4年 柔整研不束青少年柔道選手権大会
小学4年生の部 第3位
- 松下權之 地頭方小6年 県県競作文コンクール 静岡県教育長賞
- 佐藤嶺有 川崎小1年 県読書感想文コンクール 静岡県出版文化会理事長賞
- 石田久玲葉 川崎小2年 県小中学校児童生徒書き初めコンクール 最優秀賞
- 鶴岡菜波子 川崎小4年 県席書コンクール 最優秀賞
- 松下真子 細工小3年 " 最優秀賞
- 大石 亮 細工小6年 " 最優秀賞
- 鈴木寛武 細工小6年 県読書感想文コンクール 静岡県出版文化会理事長賞
- 益子太貴 細工小6年 県地震防災スタコンクール
津波対策小学校高学年の部 優秀賞
- 板倉脩磨 坂部小2年 みんなの静岡茶 小学生絵画コンクール 大賞
- 鈴木彩水 坂部小3年 全労災県小学生作品コンクール 版画 金賞
- 加藤夕貴 坂部小4年 県席書コンクール 最優秀賞
- 吉添亜美 坂部小4年 全労災県小学生作品コンクール 版画 金賞
- 小関 藍 榛原中1年 " 金賞 (平成20年中功績)
- 仲野瑞樹 相良中1年 県席書コンクール 最優秀賞
- 池村友希 相良中2年 " 最優秀賞
- 増田玲奈 相良中2年 県小中学校児童生徒書き初めコンクール 最優秀賞
- 鈴木新菜 相良中3年 県中学総体 体競競技 個人総合 第2位
- 加藤大河 榛原中2年 県総協カラコンクール バリオン 静岡県知事賞
- 柴 美紗季 榛原高3年 県高校総体 剣道競技 第3位

- 小深華 榛高定時制1年 県高校定時制秋季バドミントン大会 女子ダブルス 第1位
- 永田みづき 榛高定時制1年 " 女子ダブルス 第3位
- 片瀬悠紀 榛高定時制4年 東海高校定時制通信部体育大会 柔道男子75kg級 第2位
- 大石帆乃香 吉田高1年 県高校総合文化祭 書道団体 高文連会長賞
- 古川真弘 吉田高1年 " 高文連会長賞
- 鈴木瑠美 吉田高3年 県高校総体 なぎなた競技 団体試合の部 優勝
- 大石康平 藤高成3年 東海高校定期陸上大会 第3位
- 大石祐海 常葉菊川2年 東海高校空手選手権 男子団体組手 第2位
- 加藤夕里 静岡市商2年 しずおか健康創造21ポスター-標語川柳コンクール
ポスター-高校生部の部 最優秀賞
- 戸塚健斗 飛騨高3年 県高校総体 ソフトボール競技 第1位
- 佐藤秀平 県民スポーツレクリエーション祭 クラウドゴルフ 青組 優勝

【教育委員会表彰(団体)】[14団体]

- 勝間田小お茶っ子勝間田 県お茶カルタ選手権大会 優勝
- 勝間田小勝間田ファイターズ 県お茶カルタ選手権大会 準優勝
- 榛原中野球部 全日本少年軟式野球時之栖トナメント静岡県大会 準優勝
- 榛原中男子バスケット部 県中学新人バスケットボール選手権大会 第2位
- 榛原中女子サッカー部 中体連志太榛原支部中学総体女子サッカー 優勝
- 相良高 ヨット部男子 東海高校総体ヨット競技 男子FJ級デュエットの部 第3位
- 相良高 ヨット部女子 東海高校総体ヨット競技 女子FJ級デュエットの部 第3位
- 榛原高 放送部 NHK杯全国放送コンテスト 県大会テレビドキュメント部門 優勝
- 榛原高 家庭部 全国高校生パッチワーク&刺繍コンテスト学校部門 準グランプリ
- 榛原高 剣道部男子 県高校総体剣道競技大会 男子団体 第1位
- 相良高 アーチェリー部女子 東海高校総体 アーチェリー競技 女子団体 第3位
- 相良スワローズ野球スポーツ少年団 全国少軟式野球交流東海大会 優勝
- シワスクラブ チャンプionsカップ 第3位
- 榛原 FC マリノーズサッカースポーツ少年団 トリムカップ大会 準優勝



大正～昭和を走った 駿遠線

藤枝から袋井を結んだ日本一長かった軽便鉄道
60年間にわたり地域の足として活躍



明治末期から大正初期にかけて日本は好景気で、車両も軌道も小さい軽便鉄道の建設ブームが全国的に起こりました。

志太榛原地域にも建設の動きがあり、明治44年に藤相鉄道株式会社が設立されると、藤枝から榛南地域へ伸びる軽便鉄道の工事が進められました。大正2年に藤枝大手を起点として、最初の区間が営業を始めると、海岸沿いに西へと営業区間が拡大していき、大正4年には川崎駅、大正7年には相良駅、大正15年には地頭方駅までと、区間が次々と延長されていきました。

藤相線にもいくつかの難所がありました。そのひとつは大井川を渡る橋です。開設当初、大井川に列車専用の橋を架けるには巨額の費用がかかるため、乗客は一度列車を降り、手押しの人車に乗って大井川を渡っていました。人車を押す人は車丁とよばれ3～4人で12人乗りの人車を押したのです。この仕事は大変重労働だったので、大正13年に列車が通る新富士見橋が架かったときは涙を浮かべてその完成を喜んだそうです。

その後、昭和23年に地頭方・池新田間が開通し、藤枝から袋井までが結ばれると名称を駿遠線としました。昭和30年代の高度成長とともに道路整備が進むと、貨物や人の移動は自動車が主流となります。スピードと大量輸送に追いつけない、のんびりした軽便鉄道は各地で姿を消すようになってきました。

昭和40年代になると駿遠線も利用客の減少や施設の老朽化などから廃止の対象になりました。日本一長い軽便鉄道と言われた駿遠線も次第に廃止されて、昭和43年に大井川・堀野新田間が廃止となり、昭和45年7月には最後の列車が運行されて、およそ60年の歴史を閉じることになりました。

最盛期には、軽便鉄道の客車は通勤や通学の乗客で混雑し、狭い車内は、にぎやかな会話であふれていたようです。「急坂を登るときは、乗客が車両を押した」「風で飛ばされた帽子を拾ってもすぐ飛び乗れた」「乗ろうとする人が見えると出発を待っていてくれた」など軽便鉄道は人々の温かさや愛着をのせて走っていたのです。

相良中学校の花壇としてよみがえる

現在では、駿遠線の軌道敷は自転車道として整備され、駿遠線で唯一のトンネルであった波津地区にある小堤山トンネルが当時の面影を残すのみとなっています。

当時、駿遠線で使われていた石が相良中学校の花壇の石垣として、ボランティアの手によって生まれ変わっています。(芸術文化室)
相中花壇として甦った駿遠線の石



現存する駿遠線のトンネル (小堤山公園)



安全・安心の学校づくり～進む！耐震化～

牧之原市では、安全・安心な学校・幼稚園・保育園づくりのために、耐震化に向けた施設整備を進めています。平成21年度は、相良中学校、榛原中学校等の7施設の新築或いは耐震補強工事に着手し、3月までに工事が完了しました。

- 細江保育園園舎の新築工事 (3億7,355万円)
- 相良幼稚園園舎の耐震補強工事 (7,294万円)
- 相良中学校格技場棟の耐震補強工事 (6,935万円)
- 榛原中学校武道場棟の耐震補強工事 (3,923万円)
- 勝間田保育園園舎の耐震補強工事 (5,492万円)
- 牧之原中学校校舎の耐震補強工事 (1億44万円)
- 牧之原中学校技術棟の耐震補強工事 (992万円)



補強後の榛原中武道場
()内は概算契約額
(幼保支援室・教育総務室)

2010年は「国民読書年」-キャッチフレーズは「じゃあ、読もう。」



【国民読書年ロゴマーク】

今年、2010年は「国民読書年」です。国は、1999年に決定した「子ども読書年に関する決議」をはじめ、子どもの読書活動推進に対する啓蒙活動を行ってきましたが、世代を超えた国民の活字離れ、読書離れを止めるために、2005年に「文字・活字文化振興法」を制定しました。「国民読書年」は、国をあげて国民が読書することを応援しよう！と、2009年の6月に衆・参両院一致で採択され、「文字・活字文化振興法」の制定・施行5周年を記念して制定されました。

牧之原市立図書館では、「牧之原市子ども読書活動推進計画」にそって、子どもの読書活動の推進に力を入れていますが、今年も、大人にも自分に合った1冊が見つかる図書館になるように選書や館内を工夫して、多くの方のご来館をお待ちしています！

皆さんも、読書に親しむ1年にしてみませんか？

(社会教育室)

いきいき活動
グループ紹介 5
生涯学習ボランティア
よこぐら
自然にふれあい 手作り体験

「よこぐら」は萩間の子もたちが自然とふれあい、体験から学んだり豊かな心を育んだりできるように、学校支援員の立場から活動の場づくりに協力しています。

現在、農産物だけでなくほとんどのものが機械化されるなかで、萩間小学校の5・6年生は「完全無農薬・有機のお米作りと食味」、相良海岸での「塩づくり」をほとんど機械に頼らないで体験しています。



お米作りは5月から10月までと長期に渡ります。子どもたち手作りの塩での種もみ塩水選から始まり、苗作り・田植え前の荒おこし、代かき・田植え・草取り・害虫駆除・稲刈りまで、農薬や化学肥料は使わず自分たちの手で収穫するという目標で取り組んでいます。

収穫後は他のお米との食比べだけでなく科学的な分析も交えて評価します。できたお米は手作りの塩とともに「食育」の教材にもなっています。

(文責：代表 大石通之さん)

(社会教育室)

インフォメーション

『学校整備等検討委員会』が提言書を提出

昨年2月26日に第1回目を開催した「学校整備等検討委員会」は、3月12日、西原市長に提言書を提出し、その協議を終了しました。本検討委員会では、昨年2月から本年3月の間に計7回の検討委員会を開催し、市内小中学校の施設整備、適正配置(望ましい規模)及び特色ある学校づくりについて協議を行いました。なお、会議の資料等については、市ホームページ『元気です！教育』に掲載してありますので、ご覧ください。

(教育総務室)



榛原中バスケット部が準優勝



平成22年1月9日(土)10日(日)に浜松市雄踏総合体育館において第20回静岡県新人バスケットボール選手権大会が行われました。決勝まで順調に勝ち進み、決勝は中部大会と同一カードの静岡大成中と対戦しました。残念ながら健闘むなしく49-66で惜敗しました。今後は、逃した県大会優勝と全国大会出場を目指して頑張ります。(学校教育室)

「牧之原軒先友の会」が表彰されました



子どもの見守り活動(軒先運動)等を地域が一丸となり推進している「牧之原軒先友の会」が、12月28日、牧之原警察署長から感謝状を受けました。

感謝状は、犯罪抑止活動など警察業務に貢献した管内の5団体に贈られたもので、贈呈式では河合晴和代表(牧之原区長)がひときわ目立つ黄色の軒先ジャンパーを着用し、感謝状を受け取りました。

今、牧之原市では、「市の宝」である子どもたちを守ろうと地域が一体となった軒先運動や防犯パトロールなどの自主的な活動がさらに広がりつつあり、これら地域ぐるみの取り組みをとおして、児童生徒の安心安全・犯罪抑止につながっていくことが期待されています。

(社会教育室)

文化財の紹介 - 大鐘家住宅 -



大鐘家は、江戸時代から代々庄屋を務めた家柄です。主屋は様式や手法から18世紀初めのころの建築と思われる。屋敷前面の石垣は相良城のものを移し積んだといわれています。

主屋の部分はすべて手斧づくりで、間取りは古四間取形式で、静岡県を代表する最古の間取りで昭和48年に重要文化財に指定されています。主屋は堂々とした造りで由緒ある家の風格が現れ、大黒柱の太さと曲がりくねった梁は圧巻です。土間には「大かまど」があり、往時大勢の使用人の食事をまかない、時には味噌や醤油などを作ることもありました。(芸術文化室)



わが校のじまん

市内の小学校と中学校の『じまん』を毎号、紹介していきます。お楽しみに！



<きれいな歌声(校内音楽発表会)>



<榛原高校野球部との交流>
(じまん塾:通学合宿)

細江小学校 「5つのいっぱい」と「きれいな歌声」「じまん塾」

「強く正しくすこやかに」育てほしいという願いのもと、全校のみんなで「5つのいっぱい」をめざしています。

朝からあいさつボランティアが張り切って呼びかけ、校内に「元気のよいあいさつ」がとびかっています。

授業では、真剣に友達や先生の話聞き、しっかり考えて「自分の思いを伝える子」がいっぱいです。

地域・家庭・学校から温かく見守られ、友達の良さ見つけができる「友達にやさしい子」がいっぱいです。

自ら気づき「進んでそうじをする子」がいっぱいです。

「はききゃん(はきものそろえキャンペーン)」がすっかり定着し、「はきものをそろえる子」がいっぱいです。

ほかに自慢があります。「朝のおはようマラソン」を頑張る子がいっぱいです。そして、何と云っても「きれいな歌声」は細小の大きな自慢です。

また、「じまん塾(サマーキャンプと通学合宿)」は地域の皆様の積極的な支援のもと、PTA役員が中心となって運営している活動です。本年度も、参加者がそれぞれ160人、60人というようにとても人気があり、細小の新たな伝統となっています。

『学校・保護者・地域が融合した学校づくり

萩間小学校

コミュニティ・スクール』

萩間小学校では、本年度から文部科学省指定を受け、「コミュニティ・スクール推進事業」に取り組んでいます。これは、地域に開かれた信頼される学校を目指して、学校が、保護者や地域住民と一体となって学校づくりを進める組織をつくるための研究です。

本年度は、4回の推進委員会を開催し、学校経営方針の共有化を図り、授業や豊かな体験活動・学校行事への地域や保護者の方々の参画の在り方について話し合ってきました。

その結果、「萩小コミュニティ・スクール」を推進していく3つの柱が明らかになりました。

- 1 学校経営方針を学校・地域・保護者が共有化していきます。
- 2 学校支援組織間の情報交換をし活動を活性化させていきます。
- 3 学校と家庭と地域が一体化して取組を推進していきます。

今後、萩間小学校が、地域に根ざし、子どもにとって「学びのふるさと」となるような学校づくりを目指していきます。



<学校支援委員会で「おはぎづくり」の計画を立てる>



<「おはぎ」の作り方を支援員に教えてもらう5年生児童>

編集後記 3月に、平成21年度の「牧之原市少年少女ノーベル賞」「牧之原市教育委員会表彰」が行われました。昨年度よりたくさんの人たちが表彰され、とても嬉しく思いました。がんばっている子どもたちの姿こそが、私たち市民の希望です。がんばれ！

ご意見・ご感想はこちらまでお寄せください

教育委員会だより編集委員会

電話：53 - 2642 FAX：53 - 2657

〒421 - 0592 牧之原市相良 275

E-mail：kyoiku@city.makinohara.shizuoka.jp